

令和3年3月6日

NPOそばネットジャパン会員各位
第2回そばづくりリスト技能検定埼玉大会受検者各位

NPOそばネットジャパン
代表理事 阿部成男

1都3県緊急事態宣言の再延長にかかる第2回そばづくりリスト技能検定 埼玉大会の開催について

3月5日、菅首相は「1都3県に発布している緊急事態宣言(2月7日に1ヶ月の延長)を2週間再延長すると発表しました。

各知事も「やむなし」でまともっています。

したがって、今月13日(土)14日(日)の第2回そばづくりリスト技能検定埼玉大会は宣言期間中となります。

1月の第1回大会も開催日1週間前の1月7日に1都県に緊急事態宣言が発布されたのと同様になりました。

先に延長した緊急事態宣言は3月7日までとなっており、宣言終了後の開催予定でありましたが、この延長を受けてNPOそばネットジャパン理事会は急遽協議して、下記のとおり第2回検定会を予定通り開催することとします。

緊急事態宣言下でも開催する理由

この事業はNPOそばネットジャパンの年間計画に基づき実施するもので、受検者もこの日のために稽古を重ねてきており、さらに、このような大きな大会は簡単に日程を変更することはできないものです。

もとより、そば打ち愛好者にとってのそば打ちは、健康で潤いのある生活に欠かせないものです。

まして、NPOそばネットジャパンは、そば打ちを単なる趣味に留まらず伝統食文化の代表格ともいえる“手打ちそば文化の継承・発展に寄与する文化活動”として推進しており、所謂「不要不急」の用務とは異なるものと認識しています。

もちろん、国、いや世界中で新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組んでおり、全国民が拡大防止に努めなければなりません。

ただ、政府のwithコロナの方針は変わっておらず、埼玉県施設利用も、緊急事態宣言前に施設利用予約済みについては、現在のところ中止、延期の要請はありません。

したがって、受検者の期待に添えるためにも安全の確保に努めながら開催することとするものです。

ただし、今後、施設側から中止要請や下記以外の感染防止策を求められた場合はその時点で判断をすることになります。

感染防止対策

1 1月の検定会も一週間前に緊急事態宣言となったが、道具販売を中止し、その部屋を開会式、成績発表、閉会式、さらに間隔を取って昼食ができる室として開放し、受検者、スタッフの総人員を、全室の定員の40%程度にしました。

さらに、常時換気、各室アルコール消毒、受検者、スタッフが全てマスクとフェイスシールドを義務付けるなど感染防止策を強化して開催しましたが、今回は、全室の定員に対する実人員割合は別添のとおり38%と極めて余裕のある会場としました。。

2 前回、全体の使用人数の割合を下げるために道具販売を中止をしましたが、受検者からはあてにしていた道具が購入できず不満があったことから、今回、別棟(同フロアで渡り廊下有)の部屋を道具販売室として確保しました。

3 1月と同様に

- ① 1組当たりの受検人数は、8~9人(通常は12人)とし、基本的に検定会場の打ち台間隔は3メートル(受検者間)以上とします。
- ② 朝の検温(37.5度以上は帰宅させる。)
- ③ 各室の入退室ごとにアルコール消毒を徹底する(アルコールスプレー12本)、さらに、1組終了ごとに共用道具の消毒をする。
- ④ 開会式、成績発表、閉会式は基本的に3人掛けテーブルを1人とし、余裕のある間隔を確保する。(定員120人のところ、受検者32人、スタッフ8人)
- ⑤ 飛沫感染の恐れが大きいとされる食事は、唯一昼食となりますが、受検者は原則弁当持参とし、スタッフも弁当を配布し、控室及び開閉会式の部屋を使用し、間隔を開けて会話を慎むこととします。